

西脇市消費生活センター

☎22-3111(防災安全課内)

No.138

ガスの小売り全面自由化が始まります

平成29年4月1日から、ガスの小売り全面自由化が始まります。家庭向けガスは①都市ガス②簡易ガス(団地ガス)③LPガスの3種類ですが、今回の自由化は都市ガスが対象です。これまで、都市ガスの契約は地域ごとに特定の事業者としか契約ができませんでしたが、自由化により複数のさまざまな業種や業態の事業者の中から消費者が契約先を選択することが可能となります。ただ、都市ガスは導管整備の問題があるので、自由化になったからといって日本全国でガス会社が選べるようになるわけではなく、今のところ西脇市も該当しません。しかし、代理店等と名乗って個人情報取得したり、関連機器を売りつけるケースも懸念されます。変更可能になった時は、ガス小売り事業者には契約締結前に契約内容の説明義務が課せられます。契約内容についてよく確認し、納得したうえで変更に応じることが重要です。その他、不明なことがあれば、経済産業省電力・ガス取引監視等委員会の相談窓口(☎03-3501-5725)に相談しましょう。

おもてなしコラム 11

西脇市では、平成28年1月に「日本のへそ西脇地域食材でおもてなし条例」を施行。地域食材の魅力について認識を深め、その魅力を広く発信し、本市にさらなるにぎわいの創出を目指しています。

■問合せ 農林振興課(市役所内線323)



肉祭～肉の祭典in にしわき～を開催

昨年の「こだわりの日本酒Bar in にしわき」では市内外から多くの方々にご来場いただき、成功裏に終わるとともに、西脇市の「おもてなし」をご堪能いただけたと思います。

今年度は「肉祭～肉の祭典 in にしわき」を新庁舎建設予定地(カナート西脇跡地)にて3月19日(日)に開催します。

本市は14戸の畜産農家が黒田庄和牛の肥育を営み、年間出荷頭数約600頭のうち、その約80%が神戸ビーフとして認定される優良な産地です。西脇市のブランド農畜産物である「黒田庄和牛」をご堪能いただければ幸いです。詳細は8ページに掲載していますのでご覧くださいとともに、当日にはご家族おそろいでご来場いただき、一緒に盛り上げていただきたいと思います。

日本のへそ西脇おもてなし実行委員会

■とき／3月19日(日) 午前10時～午後4時

■ところ／新庁舎建設予定地(カナート西脇跡地)



親子連れでにぎわうこどもプラザ

子どもを育てるなら西脇市!!
— 県下初・充実の施策も —
わが国は本格的な人口減少時代を迎えており、西脇市でも平成14年から死亡数が出生数を上回る「自然減」の状態が続いています。自然減に歯止めをかけるとともに、子育て世代に西脇市を選んでもらうため、市ではさまざまな子育て支援策を実施しています。これまで、児童館の整備をはじめ、子育てコンシェルジュの配置、中学3年生までの医療費無料化、任意予防接種の助成、不妊治療費や妊婦の健診・歯科検診の助成など子育て世代を総合的に支援してきました。1月からは出生時



西脇市長 片山象二

市長からの手紙

西脇を元気に!!

38

と10か月乳児相談時に絵本を配布する「ブックスタート事業」、妊娠期から切れ目なく支援するための「子育て応援ライフプラン事業」が県下で初めてスタート、「県下最多の年6回」1歳までの赤ちゃんとお母さんに関わりを持ちます。また、4月からは子育て世代の経済的負担を軽減するため、4・5歳児の保育料無償化を実施する予定です。全国でも初めてと思われるが、認可保育所がすべて認定こども園に移行し、6つの園で園舎が新しくなります。新たに市立しほぐら幼稚園を設置し、公私連携のもと就学前教育・保育のさらなる充実が図られます。

子どもは将来の西脇市を担う宝です。今後とも子どもを産みやすい環境・育てやすい環境の整備に尽力してまいります。

このまちに住んでいることを誇れる「西脇市」をともに創っていきましょう。



1月28日に実施したカリキュラムに関する研修会

好きです!! にしわき わたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる
— 次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり —

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

「西脇市就学前教育・保育カリキュラム」を策定しました

西脇市では、平成28年3月末で市立8幼稚園をすべて閉園し、幼稚園1園を新設して平成29年4月から、3歳～5歳児までの複数年教育を実施します。また、市内のすべての地区に幼保連携型認定こども園が開設され、0歳児から5歳児までの就学前教育・保育を実施していきます。

そこで、質の高い就学前教育・保育を実践していくことを目的として、「西脇市就学前教育・保育カリキュラム」を策定しました。このカリキュラムは、平成27年度からの2年間、学識経験者の指導のもと、策定委員会を設け、各保育所・認定こども園・幼稚園の代表者で作成し、「西脇市子ども・子育て会議」で協議のうえ策定したものです。



西脇市就学前教育・保育カリキュラム

「カリキュラムの特徴」
・市内共通のカリキュラムとして作成しており、市内のどの認定こども園・幼稚園でも、同じ質の就学前教育・保育が受けられることを目指すものです。
・指導者が研修しやすいように、「ビジュアル化カリキュラム」も作成しました。



すべての幼稚園・認定こども園の教職員が、本カリキュラムを基に研修を重ね、西脇市の一人ひとりの子どもを大切にしたいという高い就学前教育・保育を推進し、西脇市のめざす子ども像である
①友達と仲良く遊べる子ども
②思いやりのある子ども
③素直に表現できる子ども
④意欲的に取り組む子ども
を育てていきますので、ご協力よろしくお願ひします。

▼問合せ 学校教育課(市役所内線527)

心のスケッチ

96

人権教育室コラム

命・震災と人権問題について

昨年、心が痛むニュースを目にしました。内容は、福島県から他県へ避難した生徒へのいじめに関するものでした。その生徒は原発事故により住む場所を追われ、やっとの思いで新生活を始めたにも関わらず、心ない言動により傷つけられ、不登校になるまで追い詰められたとのことでした。この生徒の家族のように、災害で故郷を離れなければならぬ方や、元の暮らしができていられないことを私たちは忘れてはいけません。

昨今では記憶に新しい熊本地震や鳥取中部地震などの震災被害、また台風や豪雨・豪雪など予期せぬ自然災害が数多く発生しています。これらの災害により、一瞬にして多くの命が奪われ、日々の暮らしが壊され、その結果、人々に多くの苦しみや悲しみをもたらします。また、被災者の日常が非日常となり、生活や仕事において、先にあったニュースのような人権を軽視するようなことも起こっています。

しかし、悪いことばかりではなく、被災地に対して温かい支援があることも忘れてはいけません。

熊本地震の被災地に対し、過去に大震災を経験した兵庫県や東北地方の人々は、いち早く被災者の方が必要とする支援を送られたり、海外からも多数の支援があったとのことでした。

一方で、「災害弱者」と呼ばれる高齢者や障害のある方、病气や怪我をされた方、心理的に不安を受けやすい子どもたちや外国人の方々などへの支援については多くの課題があります。

それらを踏まえ、災害時には、「一人ひとりが大切にされるまちづくり」「みんなを支える地域づくり」といった、普段から人権を大切にしたいふれあい活動があらためて重要になってくると思います。相手のことを思いやる気持ちを、持っている、災害時だけでなく、日常の生活からできること、学ぶことを心がけていきたいです。

(人権教育室)